



試行錯誤を繰り返したエキゾーストパイプ。エンジンの真下をくり左側のカーボンサイレンサーに導かれる。発売間近!!



ステップはベースプレートごと交換するハイサイド製。主張させることなくブラックアルマイトを施し、フレームに溶け込ませる



フロントフォークもビューエル用のオーリングを塗りセットアップ。ゴールドが車体のブラック、そしてホイールとスクリーンのカラードもよく似合う



リヤサスはオーリング。サーキットやワインディングでの恩恵はもちろん、街中でもそのしっとりとしたフィーリングを体感できる



## 左1本だしの超個性派 HARLEY-DAVIDSON RAINBOW XB12R

取材協力/ハーレーダビッドソンレインボー TEL029-822-6666



エンジンの下に何もなかったため、スタイリングも軽快に。ステップやハンドルのブラックアウトも効いている

XBシリーズではありえないスタイルング。「瞬にして左から飛び出たサイレンサーに目を奪われる。それでいて違和感を覚えない完成度はさすがだ。もちろんこのスタイリングは意味があつたこと。サイレンサーの取付場所にとらわれないことで、管長をとることができ、太いトルクと、軽快な吹け上がり、そして消音を達成したのだ。それにエンジンの下にスペースができたため、12Rをより軽快に見せてくれる。レインボー天田さんの「人と同じじゃつまらない」というこだわりも伝わってくる。前後オーリングのゴールドと車体のブラックも相性がよく、渋さと派手さを上手く演出している。この絶妙なコントラストも強力な個性をアピールするポイントだ。



## キジマとのコラボレートでパーツを開発 HARLEY-DAVIDSON NARITA XB9S

取材協力/ハーレーダビッドソン成田 TEL0476-28-0551  
URL <http://www.hd-narita.com/>

XB9SSと名づけられたこのマシン。SSはストリートスポーツの略で、ネイキッドのSをベースにセパハン装着しているのがその名前の由来である。「Sのスタイリングでセパハンがいい」そんなオーナーの要望に応えようと随所に工夫が施されている。Sにセパハンを装着するのは想像以上の苦戦が強いられ、メーターやヘッドライトブラケットを大幅に加工して仕上げているのだ。しかも製作の段階でオーナーが何度もショップを訪れ、その度に微調整を繰り返して、オーナーに合わせたポジションを実現した。いってみればポジションのワンオフだ。

HD成田はこんな作業を得意とする。ないものは作ればいし、合わないものは合わせればいい。そんな心強いショップなのだ。



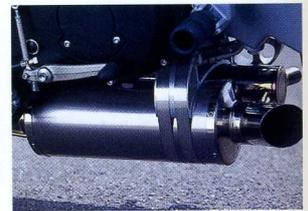
ハンドルはHD藤沢製で、トップブリッジはノーマルを加工。メーターの位置を大幅に下げ違和感をなくしている



転倒した時にもっともダメージを受けやすい部分をカバーするフレームプロテクターはキジマ製。コンパクトにまとまる



リヤビューをすっきりと見せてくれるキジマ製のリヤフェンダーレスブラケット。HD成田がプロデュースして誕生したパーツだ



マフラーはビューエルレオのウルティマウエボン。サイレンサーはもちろんエキバイにもチタンを採用する超軽量タイプ



ステップ周りは、キジマのバッグとヒールガードを装着する。今後もキジマとさまざまなアイテムを開発していくというから楽しみだ

夫婦で仲良く  
ビューエルツーリング

← 榎谷英司/あや子 (38歳/38歳)  
'02 XB9R

ハデ系が好きで旦那さんの意向で手抜きがなくカスタムされた9Rはかなりの完成度。「毎日バイクが変わっていく」と奥さんも苦笑いするが、ふたりはタンデムで仲良く参加



一度は乗りたい  
ハーレー製のエンジン!

→ 加藤宏一 (33歳)  
'01 X1

ツインのエンジンが大好きな加藤さんは、ずっとHDのエンジンに興味があった。そこで選んだのがX1だ。天気良ければ毎週末、欠かさず乗り込んでいるそうだ



街中で出会い  
情熱的にひと目ボレ

↓ 会田誠二 (35歳)  
'04 XB9S

街中でXB9Sが走っている姿を見かけひと目ボレ。その後すぐに大型免許を取り、すぐに試乗して、その場で買ったとのこと。その情熱的な姿勢がステキでした



やっぱり好みは一緒?  
兄弟揃ってBuell乗り

← 藤田委工/周右 (31歳/29歳)  
'01 X1

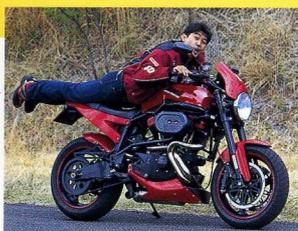
手頃なパワーが気に入って委工さんはX1、周右さんはS1Wに乗る。車種は違うけどどちらもペイントやマフラーにこだわっているトコロはやっぱり兄弟なんですね!



ビューエル以外の  
バイクは考えられない

← 江橋拓也 (38歳)  
'00 X1

ヤマハのYZF-R6という生粋のコーナリングマンから乗り換えた江橋さん。トルクが太いビューエルのほうがコーナーを楽しみやすいと感じているようだ



ツーリングのため  
工夫をこらす積載術

→ 笹岡秀啓 (30歳)  
'99 X1

X1でソロツーリングを楽しむ笹岡さん。ロングツーリングの時は荷物の積載性が気になるどころだが、サイドバッグやシートバッグなどでカバーしているそうだ



XBよりX1  
フィーリングが最高

← 石川玉雄 (39歳)  
'02 X1

'01 X1を事故で廃車にしてしまったが、再び'02 X1を購入。XBシリーズの発売は知っていたが、X1の乗りやすさとフィーリングが忘れられなかった、とのことだ



RS1200みたいな  
S3のカタチが好き

← 松尾慶一郎 (37歳)  
'96 S3

RS1200にいちばん雰囲気似ているから、ということでS3を手に入れた松尾さん。「目立つため」というコンセプトのカスタムペイント、会場で狙いは達成されましたか?

